

科目名 写真基礎演習Ⅰ

No.	到達目標	評価基準				
		S (極めて高い水準で達成している)	A (高い水準で達成している)	B (標準的な水準で達成している)	C (最低限の水準で達成している)	D (未達成である) 1つでもあてはまれば不合格
1	デジタル画像データを取り扱う上での基礎知識を理解し、そのことについて説明できる。(C-2)	デジタル画像データを取り扱う上での基礎知識に加え、特性などについても深く理解した上で、的確に説明することができる。	デジタル画像データを取り扱う上での基礎知識に加え、特性などについても理解した上で、的確に説明することができる。	デジタル画像データを取り扱う上での基礎知識を理解し、特性などについても概ね説明することができる。	デジタル画像データを取り扱う上での基礎知識を理解し、説明することができる。	デジタル画像データを取り扱う上での基礎知識を理解しておらず、説明することができてない。
2	焦点距離と被写界深度の関係について理解し、その特性を活かした写真を、指定された条件に従い制作することができる。(C-2)	焦点距離と被写界深度の関係について理解し、指定された条件を満たした上で、その特性を十分に活かし、創意工夫した撮影により、創造的な作品を複数枚制作している。	焦点距離と被写界深度の関係について理解し、指定された条件を満たした上で、その特性を十分に活かし、創意工夫した撮影により、創造的な作品としている。	焦点距離と被写界深度の関係について理解し、指定された条件を満たした上で、その特性を生かした表現方法において工夫がある作品としている。	焦点距離と被写界深度の関係について理解し、指定された条件を満たした上で、特性を活かしている。	焦点距離と被写界深度の関係について理解しておらず、その特性を活かした写真を、指定された条件に従い制作することができない。
3	シャッタースピードの違いによる作画上の特性を理解し、その特性を活かした写真を、指定された条件に従い制作することができる。(C-2)	シャッタースピードの違いによる作画上の特性を理解し、指定された条件を満たした上で、その特性を十分に活かし、創意工夫した撮影により、創造的な作品を複数枚制作している。	シャッタースピードの違いによる作画上の特性を理解し、指定された条件を満たした上で、その特性を十分に活かし、創意工夫した撮影により、創造的な作品としている。	シャッタースピードの違いによる作画上の特性を理解し、指定された条件を満たした上で、その特性を生かした表現方法において工夫がある作品としている。	シャッタースピードの違いによる作画上の特性を理解し、その特性を生かす意図を持って、指定された条件を満たして制作することができる。	シャッタースピードの違いによる作画上の特性を理解しておらず、その特性を活かした写真を、指定された条件に従い制作することができない。